

第3回審議会でのご意見について

番号	内容	回答・対応
①リサイクル率の向上		
1	宝塚市や豊能町のリサイクル率が高い理由	※事務局で調査中です。確認でき次第、報告します。
②啓発・ごみ減量		
2	自治会が指導する制度を作る。	市側で検討する。 ○環境部会との連携 ○ごみ減量等推進委員会等の創設
3	周辺市町の有料化の状況も踏まえて、有料化の話を進めるべきである。	一般ごみの有料化については、市側に現時点で具体的な考えは無い。
4	出来だけ多くの人がごみに関わる必要がある。(市民参加型とする)	国崎クリーンセンターをもっと活用する。 ○市側では受入可能な体制の確保 ○住民側には活用機会の促進 ○啓発発信のシステムの構築
5	国崎クリーンセンターを見ることで、適正排出の重要性が理解できるので、国崎クリーンセンターの見学は良い方法である。しかし、交通手段が無い。	市側で検討する。
6	様々な機会を用いて、国崎クリーンセンター見学機会の拡充が必要である。	市側で国崎クリーンセンターをもっと活用する方法を考える。
7	国崎クリーンセンターで行っているごみ処理状況や出前講座で行ってるような分別方法のDVDを活用してはどうか。	非常に効果的と考えるので、市側で検討を行う。
8	国崎クリーンセンターを有効活用するためには、市所有のバスの活用方法を明確にする必要がある。計画的に地域を決めて土日でもマイクロバスを使用するなどが必要である。	非常に効果的と考えるので、市側で検討を行う。
9	過去5年間の有料化を行った近隣市町と川西市との状況が分かる資料が必要。	川西市、豊能町、猪名川町の粗大ごみ原単位の推移を作成 資料3参照
③袋の色指定		
10	袋の透明、半透明はリサイクル率の向上のために有効である。	兵庫県内の先進市で「導入後に減量効果が見られた」とする報告が多くみられる。導入について市側で検討する。
11	透明、半透明を実際に持ってきてほしい。	
④その他(黄色ごみ袋)		
12	からす対策として黄色のごみ袋の効果を調査して欲しい	資料4参照